



令和7年7月18日
企画財政課

阿賀野市がタコスソースをつくりました ～移住促進で陽気な市役所にイメチェン～

本市は移住・定住の推進を図る情報発信などを行う地域おこし協力隊を任用しています。本市の地域おこし協力隊である高松英昭隊員が中心となり、移住者の増加に向けて、市内の地域資源を活用した6次産業化の事業を立ち上げました。これまで、その過程を逐次発信することで、移住検討者に向けて、農業、商業分野を中心に実践的な情報発信を行ってきました。

このたび、本事業で開発した商品を、道の駅あがので販売します。



商品写真

1 商品名 百姓タコス

2 商品概要

- ・市内（うららの森農園）でハラペーニョを栽培し、市内（道の駅あがの）の加工施設を利用して作った6次産業化商品です。
- ・チポトレ（燻製ハラペーニョ）を使った本格的なタコスソースです。国産のチポトレは希少で、阿賀野市で栽培したハラペーニョを燻製にして原材料に使用したソースです。

3 販売開始日 令和7年7月26日（土）

4 販売場所 道の駅あがの（阿賀野市窪川原 553-2）

5 その他

- ・7月26日（土）午前10時から、道の駅あがので百姓タコスの販売会を行います。11時30分から12時頃までは、阿賀野市長が店頭に立って商品をPRする予定です。
- ・販売会では、市内事業者がキッチンカーを出店し、百姓タコスを使用した商品を販売する予定です。



阿賀野市イメージキャラクター
「ごずっちょ」

【問い合わせ】

担当：企画財政課 企画係 難波、高松
電話：0250-62-2510（内線2243）
mail: kikaku@city.agano.niigata.jp

【事業に込められた、もうひとつの思い】～変わりゆく自治体～

ここは、新潟平野のほぼ真ん中の地

今から 20 年前、新潟県酪農発祥の町、県都に隣接し住宅地と水田が調和した村、県政発祥の町、有機農業で都会とつながる村が合わさり、誕生したひとつの市。

それとともに文化の異なる 4 つの町村役場から集められた職員で、阿賀野市役所がスタートしました。

平成、令和と時代が流れ、地域の様子も変わり

気がつけば、ぽつりぽつりと空き家や空き地が目立ちます。

人口減少、少子高齢化、東京一極集中・・・

次々に現れる新たな課題やニーズにより、新しいアイディアを取り入れる必要性が増していきました。

一方で、市役所の職員を見た人からは、「なんとなく保守的で…」「内向的で」という声も・・・

時代とともに市役所も変わらなければいけない・・・

そんな思いを持っていたところ、合併から 20 周年を目の前にしたタイミングで、一人の地域おこし協力隊を迎えました。

隊員とともに取り組んだのは、「移住・定住促進のための情報発信」

移住してもらうにはどのような情報が必要か・・・

日々考える中で、隊員はひらめきました・・・“そうだ、タコスソースをつくろう！”

前例のない取組に職員は戸惑いながらも、プロジェクトは動き出しました。

- ・原料を市内で作れないか？→市の耕作地を使いましょう！（許可を取りました）
- ・市内で加工できないか？→市内で使える施設を探しましょう！（見つかりました）
- ・広告素材を集めたい→市役所全体で POP を作成！（結構盛り上がりました）

戸惑いと少しずつの成果を積み重ね、

そんなこんなで完成しました“百姓タコス”！

変化が激しく、地方にとっては厳しさが増す世の中ですが、阿賀野市役所は、市の明るい未来に向けて、これからも明るく前向きに取り組めます



阿賀野市 加藤市長